

2024年度 和泉短期大学 シラバス

| | | | | | |
|------------------|---|--|-----------------------|------|-----|
| 授業科目名 | 子どもの健康と安全 | | 教員氏名 | 八代陽子 | |
| 科目ナンバー | Ⅲ-6-1-6 | | | | |
| 学年 | 2年 | | 開講学期 | 前期 | |
| 授業形態 | 演習 | | 単位数 | 1単位 | |
| 必修・選択 | 保育士必修 | | 実務経験 | 看護師 | 10年 |
| テーマ | ガイドラインやデータ等を踏まえ、子どもの発達や状態等に即した適切な対応、事故防止、安全管理について学ぶ | | | | |
| ディプロマポリシー | 1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。 2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。 3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。 | | | | ○ |
| カリキュラムポリシー | 科目群Ⅰ 教養 | キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する | | | |
| | 科目群Ⅱ 原理 | 様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う | | | |
| | 科目群Ⅲ 知識・技能 | 子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける | | | |
| | 科目群Ⅳ 実践 | 学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う | | | |
| 授業の概要 | 子どもの生命を守り心身の健康増進を図る保健活動は重要性である。本科目では、ガイドラインやデータ等を踏まえ、子どもの発達や状態等に即した適切な対応、事故防止、安全管理について学ぶ。具体的には、看護師として病院に勤務した実務経験に基づく事例・実践と、ガイドライン等を参考に、赤ちゃん人形を用いたロールプレイ、グループワークを通して子どもの発達や状態等に即した適切な対応、事故防止、安全管理について学ぶ。授業内容により、衛生、安全に配慮した服装や、身だしなみを指示する。怠った場合は衛生、安全の観点から授業への出席が認められない場合がある。 | | | | |
| 授業の到達目標 | 1. 子どもの体調不良等に対する適切な対応について具体的に挙げるができる。 2. 保育における感染症対策について実施できる。 3. 保育における事故防止、安全管理について討議できる。 | | | | |
| テキスト | 鈴木美枝子『これだけはおさえたい！保育者のための「子どもの健康と安全」創成社2022』 | | | | |
| 参考書 | 保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領 | | | | |
| ポートフォリオ | 授業内で指示したワークをポートフォリオに綴ること | | | | |
| 往還型授業 (双方向授業) | 授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする | | | | ○ |
| | リアクションペーパーを用いて授業内での疑問等を対話形式にて対応する | | | | ○ |
| | リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める | | | | |
| | ICT(グループワーク含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する | | | | ○ |
| その他： 特になし | | | | | |
| 成績評価方法 | 区分 | 割合(%) | 内容 | | |
| | 定期試験 | 40 | 筆記試験 40% | | |
| | 授業内課題 参加度 出席態度等 | 60 | 授業課題50% 授業への取り組み姿勢10% | | |
| | その他 | 0 | 0 | | |

授業概要と課題

| | | | |
|-----|-----------|---|-----|
| 第1回 | テーマ 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・授業内容と評価方法の確認 ・感染予防と対策① 感染の原理原則・病原体 | |
| | 授業外学習 | (予習)シラバスを読む。 テキスト「感染症の対策」対応箇所を読み事前学習をする (復習)提示された課題に取り組む | 55分 |
| 第2回 | テーマ 内容 | 感染予防と対策② 予防接種・感染症 | |
| | 授業外学習 | (予習)保育所における感染症ガイドラインと、テキスト「予防接種」対応箇所を読み事前学習をするについて事前学習する (復習)配布資料を復習する | 55分 |
| 第3回 | テーマ 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・感染予防と対策③事例から考える感染症発生時の対応(麻疹・インフルエンザ) ・子どもの健康状態の把握と適切な対応 ・家庭、専門機関、地域の関係機関との連携 | |
| | 授業外学習 | (予習)保育所における感染症ガイドラインと、テキスト「体調不良や障害が発生した場合の対応・家庭、専門機関、地域の関係機関との連携」対応箇所を読み事前学習をするについて事前学習する (復習)配布資料を復習する | 55分 |
| 第4回 | テーマ 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・感染予防と対策④事例から考える感染症発生時の対応(ノロウイルス) ・嘔吐物処理演習 | |
| | 授業外学習 | (予習)テキスト「嘔吐物処理の対応箇所を読み事前学習をする (復習)配布資料を復習する | 55分 |
| 第5回 | テーマ 内容 | <ul style="list-style-type: none"> 子どもの生活に対する援助 ・乳児の日常生活援助(排泄・衣服着脱・抱っこ・おんぶ) ・「沐浴」援助技術 | |
| | 授業外学習 | (予習)テキスト「沐浴」を中心に「排泄・衣服着脱・抱っこ・おんぶ」対応箇所を読み事前学習をする (復習)提示された課題に取り組む | 55分 |
| 第6回 | テーマ 内容 | 身体計測 | |
| | 授業外学習 | (予習)テキスト「身体計測」対応箇所を読み事前学習をする (復習)配布資料を復習する | 55分 |
| 第7回 | テーマ 内容 | 清潔にかかわる日常生活援助(手・顔・口腔・耳鼻) | |
| | 授業外学習 | (予習)テキスト「歯磨き・うがい・手洗い・耳鼻のケア」対応箇所を読み事前学習をするについて事前学習する (復習)配布資料を復習する | 55分 |
| 第8回 | テーマ 内容 | <ul style="list-style-type: none"> 災害への備え ・映像を題材とした災害対策・危機管理 ・職員間の連携・協働と組織的取り組み ・保育における保健活動の計画及び評価 | |
| | 授業外学習 | (予習)テキスト「災害対策」「危機管理」「職員間の連携・協働と組織的取り組み」「保育における保健活動の計画及び評価」の「対応箇所を読み事前学習をする (復習)配布資料の復習をする | 55分 |
| 第9回 | テーマ 内容 | 応急手当 | |
| | 授業外学習 | (予習)テキスト「応急手当」対応箇所を読み事前学習をする (復習)配布資料の復習をする | 55分 |

| | | | |
|------|-----------|--|-----|
| 第10回 | テーマ 内容 | 事後防止・安全管理・危機管理 ・事故防止及び安全管理 ・危機管理 | |
| | 授業外学習 | (予習)「事後防止・安全管理・危機管理」対応箇所を読み事前学習をする (復習)配布資料の復習をする | 55分 |
| 第11回 | テーマ 内容 | 個別的配慮が必要な子どもへの対応・与薬・薬法 | |
| | 授業外学習 | (予習)テキスト「個別的配慮が必要な子どもへの対応」の箇所を読み事前学習をする (復習)提示された課題に取り組む | 55分 |
| 第12回 | テーマ 内容 | 一次救命処置 | |
| | 授業外学習 | (予習)テキスト「一時救命処置」対応箇所を読み事前学習をする (復習)配布資料の復習をする | 55分 |
| 第13回 | テーマ 内容 | 学びの振り返り | |
| | 授業外学習 | (予習)これまでの授業に使用した配付資料・テキストを読み事前学習をする (復習)授業内で使用した課題・配布資料を整理して綴じる | 55分 |

課題に対するフィードバックの方法

提出されたレポート・質問は、次回授業時に口頭やプリントにてフィードバックする

2024年度 和泉短期大学 シラバス

| | | | | | |
|---------------|--|--|----------------------|------|-----|
| 授業科目名 | 子どもの健康と安全 | | 教員氏名 | 星 早織 | |
| 科目ナンバー | Ⅲ-6-1-6 | | | | |
| 学年 | 2年 | | 開講学期 | 前期 | |
| 授業形態 | 演習 | | 単位数 | 1単位 | |
| 必修・選択 | 保育士必修 | | 実務経験 | 保育士 | 12年 |
| テーマ | 保健的観点に基づく保育の環境整備や健康・安全管理の実施体制など、より実践的な力を身に付ける | | | | |
| ディプロマポリシー | 1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。 2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。 3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。 | | | | ○ |
| カリキュラムポリシー | 科目群Ⅰ 教養 | キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する | | | |
| | 科目群Ⅱ 原理 | 様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う | | | |
| | 科目群Ⅲ 知識・技能 | 子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける | | | ○ |
| | 科目群Ⅳ 実践 | 学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う | | | |
| 授業の概要 | 集団保育において保育者に求められる子どもの怪我や疾病、感染症等への適切な対応や事故防止、安全管理について学ぶ。また、赤ちゃん人形を用いた保育体験やロールプレイ等の演習授業を通して現場に即した実践力を身に付ける。担当教員がもつ保育所保育士としての実務経験に基づく例を示しながら、保育における養護技術や健康安全管理等について演習を中心に授業を展開する。 (授業内容により、衛生、安全に配慮した服装や、身だしなみを指示する。怠った場合は衛生、安全の観点から授業への出席が認められない場合がある。) | | | | |
| 授業の到達目標 | 保育における保健的観点を踏まえた保育環境や援助について理解し論じることができる | | | | |
| | 関連ガイドラインや近年のデータ等に基づき、子どもの体調不良や緊急時の状況に即した適切な対応について学び、実施できる | | | | |
| | 子どもの保健及び安全の管理に関わる組織的取り組みや、保健活動の計画及び評価について理解し応用できる | | | | |
| テキスト | これだけはおさえたい！保育者のための「子どもの健康と安全」[改訂第二版] 鈴木美枝子編著 創成社 | | | | |
| 参考書 | 「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定子ども園教育・保育要領」フレーベル館 | | | | |
| ポートフォリオ | なし | | | | |
| 往還型授業 (双方向授業) | 授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする | | | | ○ |
| | リアクションペーパーを用いて授業内での疑問等を対話形式にて対応する | | | | ○ |
| | リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める | | | | ○ |
| | ICT(グループクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する | | | | ○ |
| | その他: 特になし | | | | |
| 成績評価方法 | 区分 | 割合(%) | 内容 | | |
| | 定期試験 | 40 | 筆記試験 40% | | |
| | 授業内課題参加度出席態度等 | 60 | 授業内提出課題及び授業態度と意欲 60% | | |
| | その他 | | | | |

| 授業概要と課題 | | |
|---------|-----------|--|
| 第1回 | テーマ 内容 | 授業内容と評価方法の確認 子どもの感染症対策①感染症の集団発生と予防 |
| | 授業外学習 | <予習>シラバスを読む、保育所における感染症ガイドラインについて事前学習を行う <復習>提示された課題に取り組む 55分 |
| 第2回 | テーマ 内容 | 子どもの感染症対策②感染症の感染発生時と罹患後の対応 麻疹、インフルエンザ、COVID-19 |
| | 授業外学習 | <予習>教科書、参考資料を読み、重要事項に下線を引く <復習>Googleclassroomに提示された課題に取り組む 55分 |
| 第3回 | テーマ 内容 | 健康及び安全の管理の実施体制①保育における保健活動の計画及び評価 保健だより作成 |
| | 授業外学習 | <予習>教科書、参考資料を読み、重要事項に下線を引く <復習>保健だよりの作成を行い、Googleclassroomに提出する 55分 |
| 第4回 | テーマ 内容 | 保健的観点を踏まえた保育環境及び援助 個別対応と集団全体の健康及び完全の管理(感染症対策、嘔吐処理) |
| | 授業外学習 | <予習>教科書、参考資料を読み、重要事項に下線を引く <復習>授業内容を振り返り、まとめる 55分 |
| 第5回 | テーマ 内容 | 保育における健康及び安全の管理①衛生管理 演習:ノロウイルス、手洗い、エプロン・手袋着脱 |
| | 授業外学習 | <予習>ノロウイルス感染症対策の対応を実際に行えるように授業内容を振り返っておく <復習>授業内容を振り返り、まとめる 55分 |
| 第6回 | テーマ 内容 | 保育における保健的対応①基本的考え方 講義:沐浴等 |
| | 授業外学習 | <予習>教科書、参考資料を読み、重要事項に下線を引く <復習>提示された課題に取り組む 55分 |
| 第7回 | テーマ 内容 | 保育における保健的対応②3歳未満児への対応 演習:衣類着脱、おむつ交換、沐浴 |
| | 授業外学習 | <予習>演習内容を实际行えるように授業内容を振り返っておく <復習>提示された課題に取り組む 55分 |
| 第8回 | テーマ 内容 | 子どもの体調不良等に対する適切な対応①応急手当 |
| | 授業外学習 | <予習>子どもの保健 I の授業で学んだ該当箇所について振り返っておく <復習>授業の内容を振り返り、まとめる 55分 |
| 第9回 | テーマ 内容 | 子どもの体調不良等に対する適切な対応②救急処置及び救急蘇生法 演習:救急処置、救急蘇生法、気道異物 |
| | 授業外学習 | <予習>子どもの保健 I の授業で学んだ該当箇所について振り返っておく <復習>授業の内容を振り返り、まとめる 55分 |

| | | | |
|------|-----------|---|-----|
| 第10回 | テーマ 内容 | 健康及び安全管理の実施体制②保育における保健活動の計画及び評価 発育発達と身体測定 講義及び演習 | |
| | 授業外学習 | <予習>身体測定を実際行えるよう事前学習を行う (復習)授業内容を振り返り、まとめる | 55分 |
| 第11回 | テーマ 内容 | 保育における保健的対応③個別の配慮を要する子どもへの対応 慢性疾患、食物アレルギー | |
| | 授業外学習 | <予習>教科書、参考資料を読み、重要事項に下線を引く <復習>提示された課題に取り組む | 55分 |
| 第12回 | テーマ 内容 | 保育における健康及び安全管理② 保育環境における事故防止及び安全対策、危機管理、災害への備え | |
| | 授業外学習 | <予習>実習先などの保育環境や安全管理について振り返っておく <復習>授業の内容を振り返り、まとめる | 55分 |
| 第13回 | テーマ 内容 | 本授業でのまとめ | |
| | 授業外学習 | 本授業で学んだことや学生自身の学びの確認をする | 55分 |

課題に対するフィードバックの方法

- ・授業内容、課題などの質問については授業後、又はオフィスアワーにおいて対応する。
- ・提出された課題について、返却時に口頭やプリントにて取り組みの成果と今後の課題についてフィードバックを行う。